京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市地域特産物需要拡大センター「道の駅ウッディー京北」の運営について

当施設は、農林業が主幹産業である京北地域において、農林産物を始めとする地域特産物の需要を拡大し、地域の活性化を図る拠点施設として平成８年に設置されました。

平成２２年４月には京都市初の道の駅となり、その機能を果す中、令和７年度は約３８万人の方々に御利用いただきました。

施設の概要

○主な設備：地域特産物の直販所、飲食提供施設（喫茶・テイクアウトコーナー）、研修室
また、２４時間利用可能なトイレや駐車場があります。





施設の利用状況（概数）

○　年間約３８万人の方々にご来館いただいています。
○　研修室の利用は約１９０件となっています。

施設運営に関する支出・収入（概数）

利用者１人当たりに換算すると、上記の施設運営にかかる年間の支出は２００円（総額７，７４９万円）、地域特産物の販売手数料や軽食喫茶の売り上げ等による収入は２１０円（総額７，９９９万円）です。

＜支出：２００円（総額７，７４９万円）＞

運営費（人件費・光熱水費等） ２００円

＜収入：２１０円（総額７，９９９万円）＞

地域特産物の販売手数料や軽食喫茶の売り上げ等 ２１０円

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組（維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等）を進めてまいります。

いずれも概数
10 円単位で四捨五入

［京都市産業観光局農林振興室（075-222-3351）］